

《担当者名》中川賀嗣

【概要】

精神医学の概念と歴史、精神障害全般の分類、診断法、各疾患カテゴリーの分類と基本症状、経過と治療について学ぶ。

【学修目標】

一般目標

1. 精神障害を分類できる。
2. 各障害についての概要を説明できる。
3. 各障害の違いを説明できる。

行動目標

1. 症状を記載できる。
2. 記載した症状について文献検索できる。

【学修内容】

| 回  | テーマ                                 | 授業内容および学修課題                                    | 担当者  |
|----|-------------------------------------|------------------------------------------------|------|
| 1  | 精神医学の歴史<br>精神医学の基礎となる知識             | 精神医学の歴史<br>精神医学の基礎となる知識                        | 中川賀嗣 |
| 2  | 精神科患者への接し方                          | 治療者－患者関係のとり方<br>治療契約と構造の重要性<br>インフォームドコンセントの実際 | 中川賀嗣 |
| 3  | 精神症状の評価法(とらえ方)<br>精神症状、状態像に関する概念、用語 | 精神症状の評価法(とらえ方)<br>精神症状、状態像に関する概念、用語            | 中川賀嗣 |
| 4  | 精神科に必要な、脳・神経症状の知識(大脳症状など)           | 精神科に必要な、脳・神経症状の知識(大脳症状など)                      | 中川賀嗣 |
| 5  | 疾患分類<br>症状性を含む器質性精神障害               | 疾患分類、診断法<br>症状性および器質性精神障害<br>認知症性疾患            | 中川賀嗣 |
| 6  | 精神作用物質による精神と行動の異常<br>てんかん           | 精神作用物質による精神と行動の異常<br>てんかん                      | 中川賀嗣 |
| 7  | 統合失調症                               | 統合失調症                                          | 中川賀嗣 |
| 8  | 気分障害                                | 気分障害                                           | 中川賀嗣 |
| 9  | 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害           | 神経症性障害、ストレス関連障害および身体的表現性障害                     | 中川賀嗣 |
| 10 | 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群             | 摂食障害他<br>睡眠関連障害                                | 中川賀嗣 |
| 11 | 成人のパーソナリティおよび行動障害                   | 成人のパーソナリティおよび行動障害                              | 中川賀嗣 |
| 12 | 児童期の精神障害                            | 自閉症を中心とした児童期の精神障害                              | 中川賀嗣 |
| 13 | 薬物療法(1)                             | 薬物の種類<br>抗精神病薬<br>抗鬱薬、抗躁薬、気分安定薬                | 中川賀嗣 |
| 14 | 薬物療法(2)                             | 抗不安薬、睡眠薬<br>抗てんかん薬                             | 中川賀嗣 |
| 15 | 精神療法、電気けいれん療法<br>精神科救急など            | 精神療法、電気けいれん療法<br>精神科救急など                       | 中川賀嗣 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

期末試験100%。

**【教科書】**

上島国利 他 編 「精神医学テキストー精神医学の理解と治療のために（改定第4版）」 南江堂 2017年

**【備考】**

講義は主に教科書を用いる。

**【学修の準備】**

精神障害について理解を深めるために、神経学的症状との違い、共通点を整理しながら予習すること(80分)。  
講義の内容を復習し、精神医学の講義全体について見渡し、相互の関係を理解すること(80分)。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

(DP3) 作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

(DP4) 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。

**【実務経験】**

医師

**【実務経験を活かした教育内容】**

精神科医であることを活かし、精神医学の基礎、臨床について、自身の経験を交えて講義し、興味と理解を深める。